

経営戦略としての女性活躍推進

～組織が変わる 企業はもっと強くなる～

三菱UFJリサーチ&コンサルティングでは、去る2012年11月7日（水）に愛知県産業労働センター ウィンクあいち（10階 1002会議室）において、「ビジネスフォーラム 経営戦略としての女性活躍推進」を開催しました。

フォーラムでは、企業経営者や女性活躍推進関係者を中心に、公共セクターや大学関係者等、約100名が参加し、基調講演、調査報告・コンサルティング事例の発表、パネルディスカッションに最後まで熱心に耳を傾け、盛況のうちに終了しました。

以下、フォーラムの背景・目的、フォーラムの構成、基調講演者、パネリストの略歴を紹介するとともに、講演録等を掲載します。

（１）フォーラムの背景・目的

日本は人口減少時代に入りました。国内で事業を営むほとんどの企業は、組織の維持強化、既存市場の維持や新規市場の開拓等に新たな発想が求められています。キーワードは「女性の力」です。しかし、日本は他の先進国と比較して女性の活用が遅れており、近年、大企業を中心に「女性の活躍推進」が人事戦略上の重要な課題となっています。とりわけ、東海4県は、当社が実施したアンケートからも、全国と比較して女性管理職比率が低いという結果が出ており対応が求められます。さらに、政府も「2020年までに女性管理職比率を30%に高める（ポジティブアクション）」という目標数値を掲げており、企業は女性活躍推進に本腰を入れて取り組む必要が出てきています。

本フォーラムは、女性活躍推進の取り組みに課題を感じている大企業および中堅中小企業、公共セクターの関係者の方々に対し、女性活躍推進における先行企業の経営層のご講演、パネルディスカッションおよび当社の調査報告・コンサルティング事例を紹介することにより、諸課題の解決や推進のための手がかりや方策を提供することを目的に開催いたしました。フォーラムのアンケートからは、「これからの経営には女性の登用が本当に大切であると認識した」「大企業から中小企業の事例まで幅広く具体的な話が聞けて大変参考になった」といったご意見、ご感想を多く頂戴しました。

今回のテーマである「女性活躍推進」は、当社の東名阪、コンサルティング・国際事業本部と政策研究事業本部のコンサルタントと研究員、会員・人財開発業務企画部員が所属部署の枠を超えて取り組んでいるテーマのひとつです。当社では、国や自治体を中心とした女性活躍推進の取り組みやワーク・ライフ・バランスに関する調査研究、大企業や中堅企業を中心とした女性管理職の育成支援や女性活躍推進支援等のコンサルティングを実施しています。当フォーラムを含め、当社のこのような活動を通して、今後も日本における女性活躍推進の機運の醸成やダイバーシティ経営の促進に貢献していきたいと考えています。

（２）フォーラムの構成

主催者あいさつ

当社 常務執行役員 森口茂樹

第一部 基調講演

「経営戦略としての女性活躍推進 ～今、企業がすべきこと～」

ライフネット生命保険株式会社 代表取締役社長 出口治明氏

第二部 調査報告・コンサルティング事例

「最新の調査データで見るわが国の現状と課題」

当社 経済・社会政策部 主任研究員 矢島洋子

「東海4県の現状と実践に役立つ3つのポイント」

当社 経営戦略部（名古屋） コンサルタント 有馬祥子

第三部 パネルディスカッション

「東海企業における女性活躍推進の取り組み」

パネリスト

ジヤトコ株式会社 人材開発部課長 佐藤真琴氏

株式会社浜木綿 代表取締役社長 林永芳氏

丸尾興商株式会社 取締役経理部長 豊田浩子氏

コーディネーター

当社 会員・人材開発業務企画部 部長 鈴木初枝

閉会あいさつ

当社 組織人事戦略部（名古屋） コンサルタント 新井みち子

（注）部署、肩書はフォーラム開催当時のものです。